

## 28年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年6月1日～ 28年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
入荷動向	スギ	33.3	20.0	0.0
	ヒノキ	0.0	△ 25.0	△ 50.0
	カラマツ	△ 50.0	△ 40.0	△ 40.0
	トドマツ	33.3	0.0	0.0
消費動向	スギ	66.7	60.0	20.0
	ヒノキ	50.0	25.0	0.0
	カラマツ	16.7	20.0	20.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 16.7	△ 20.0	△ 20.0
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	△ 66.7	△ 60.0	△ 40.0
	トドマツ	33.3	△ 33.3	△ 33.3

・スギ原木の入荷は6月、7月の増加が、8月は横ばい。ヒノキは6月の横ばいが、7月、8月は減少。カラマツは3ヵ月連続して減少。トドマツは6月の増加が、7月、8月は横ばい。

・スギ、ヒノキ及びカラマツ原木の消費は総じて3ヵ月連続して増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ、ヒノキ及びカラマツ原木の在庫は3ヵ月連続して減少。トドマツは6月の増加が、7月、8月は減少。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/6月	7月	8月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	50.0	60.0	60.0
米マツ	0.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキ原木の価格は3ヵ月連続して横ばい。カラマツは強保合い。

・米マツ、北洋カラマツ及びその他は3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・スギは予定通り入荷、カラマツは多少遅れての入荷、先月同様消費は横ばい。入荷量分の消費により在庫は横ばい。
- ・スギは入荷順調、カラマツは困難。今月から稼働日含め生産増。
- ・県産材を優先的に受け入れ継続、県産のスギを多く使うよう製品作りをしている。各樹種とも在庫多いが、素材生産者のことを考え消費分は入荷していく。
- ・カラマツのみ増産で入荷、半年ほど同じ。消費は現状横ばい、全体的に在庫過剰。
- ・入荷不安定。稼働日増で消費が増加。
- ・消費に合わせて入荷。現在フル稼働中、8月は稼働日が減るので消費も減る。在庫量3ヵ月分をキープ。

## (原木価格)

- ・カラマツは他工場の引合強く、多少価格が上がった。北洋カラマツは弱含みの横ばい。
- ・国産材、外材共に横ばい、スギは弱含み、カラマツは強含みだが、価格を変えるつもりはない。
- ・カラマツは強含み。
- ・市場価格は下がっているが、購入価格はキープして伐採意欲を維持するようにしている。

## 28年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
生産動向	構造用(9mm)	16.7	0.0	0.0
	〃 (12mm)	28.6	33.3	16.7
	〃 (15mm)	14.3	0.0	16.7
	〃 (24mm)	42.9	33.3	16.7
	〃 (28mm)	42.9	33.3	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	50.0	20.0	0.0
	〃 (12mm)	42.9	33.3	16.7
	〃 (15mm)	14.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	42.9	33.3	0.0
	〃 (28mm)	42.9	33.3	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	△ 40.0	△ 20.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 42.9	△ 33.3	△ 16.7
	〃 (15mm)	△ 42.9	△ 33.3	△ 16.7
	〃 (24mm)	△ 42.9	△ 50.0	△ 33.3
	〃 (28mm)	△ 42.9	△ 50.0	△ 33.3

・合板の生産は9mm、15mmに一部横ばいがあるものの、総じて増加で推移。

・合板の出荷は総じて6月、7月の増加が、8月は横ばい。

・合板の在庫は、総じて3ヵ月連続して減少。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/6月	7月	8月
構造用(9mm)	66.7	20.0	20.0
〃 (12mm)	57.1	16.7	16.7
〃 (15mm)	57.1	16.7	16.7
〃 (24mm)	57.1	16.7	16.7
〃 (28mm)	57.1	16.7	16.7

・合板の出荷価格は、6月の値上がり7月、8月は強含みで推移。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・先月と変わらない生産量。全製品、生産分を完売。全品目、在庫は極めて少ない。
- ・6、7月生産増。引合強く、特に厚物の動き好調。在庫ますます減へ。
- ・9mm～15mmは通常の生産だが、24mm、28mmは工場火災で生産が困難。引合多く在庫は減少。
- ・変化なし。
- ・出荷は増加傾向。
- ・在庫、製品の荷動きに合わせて生産。仮需と思われる発注が続く中、仮設住宅の発注もあり、引き続き引合は強い。在庫は増える状況にない。

## (合板価格)

- ・6月より構造用合板は、10円～20円値上げをアナウンス。
- ・上昇傾向。
- ・変わらず。
- ・夏場以降の荷動きに期待して、様子見が続く。